

環境経営レポート

運用期間 令和 5年 6月 ～ 令和 6年 5月



（ かつば館 四万十町打井川 ）

発行日 令和6年6月18日

有限会社 西村建設

目 次

1	組織の概要	-----	(1)
2	対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	-----	(2)
3	環境経営方針	-----	(3)
4	環境管理組織体制	-----	(4)
5	環境経営目標	-----	(5)
6	環境経営計画	-----	(6)
7	環境経営目標の実績	-----	(7)
8	環境経営計画の取組結果とその評価	-----	(10)
9	次年度の環境経営計画の取組内容	-----	(13)
10	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	-----	(14)
11	代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	-----	(15)

発 行 日 : 令和6年6月18日
発 行 責 任 者 : 環境管理責任者 住吉 弘光
次 回 発 行 予 定 : 令和 7年 7月 頃

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

有限会社 西村建設
代表取締役 田邊 康弘

(2) 所在地

本 社 〒 786-0304 高知県 高岡郡 四万十町 下岡21番地

倉 庫 高知県 高岡郡 四万十町 打井川232番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環 境 管 理 責 任 者 住吉 弘光
担 当 者 住吉 弘光
連 絡 先 TEL 0880-27-0845 FAX 0880-27-1563
E-mail nisimura-kensetu@shimanto.tv

(4) 事業内容

建設業

許 可 番 号 高知県知事 許可(特-27) 第2962号
許可の有効期間 令和2年5月23日 ～ 令和7年5月22日
建 設 業 の 種 類 土木工事業・とび土工工事業
水道施設工事業・舗装工事業
解体工事業

(5) 事業の規模

設 立 年 月 日 昭和37年10月5日

資 本 金 2,000万円

活動規模		単位	令和3年度	令和4年度	令和 5年度
完成工事高		百万円	253	411	273
従業員		人	10	12	12 ※
床面積	事務所	m ²	130	130	130
	倉庫	m ²	409	409	409

※ 従業員数は、令和 5年 6月 1日時点の人数

(6) 事業年度 令和 5年度 (令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日)

2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

(1) 対象事業所

有限会社 西村建設

本 社 高知県 高岡郡 四万十町 下岡21番地

倉 庫 高知県 高岡郡 四万十町 打井川232番地

(2) 事業活動

建設業
土 木 工 事 業
とび・土工工事業
舗 装 工 事 業
解 体 工 事 業

(3) 環境経営レポートの対象期間

1年間 (令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日)

(4) 環境経営レポートの発行日

令和6年6月18日

(5) 作成責任者

環境管理責任者 住吉 弘光

3. 環境経営方針

環境経営理念

四万十川流域で公共工事等の土木建設業を行っていく上で、課題となるのが環境問題です。限りある資源の有効利用や地球温暖化の進行を考え、積極的に環境負荷の少ない事業活動に参加し、社会に貢献できる会社にしていくつもりです。また、社員の高齢化が進行する中で若手従業員を確保して、異業種への参入も視野に入れていきたい。

環境経営方針

1 環境への取組を進めるため、以下の事項について全従業員で取組んで行きます。

- ① 電力使用量や、工事に伴う重機や車から排出される二酸化炭素排出量を削減します。
- ② 一般廃棄物の削減及び産業廃棄物のリサイクルを推進します。
- ③ 節水により水使用量を削減します。
- ④ グリーン購入の拡大を促進します。
- ⑤ 環境に配慮した工事の施工を行います。
- ⑥ 地域ボランティア活動への積極的参加を推進します。

2 環境関連法規制及び条例等を遵守します。

3 この環境経営方針は全従業員に周知し、環境経営レポートとして社外に公表します。

4 上記の方針達成のため、目標を設定し、定期的に見直し環境経営システムを推進します。

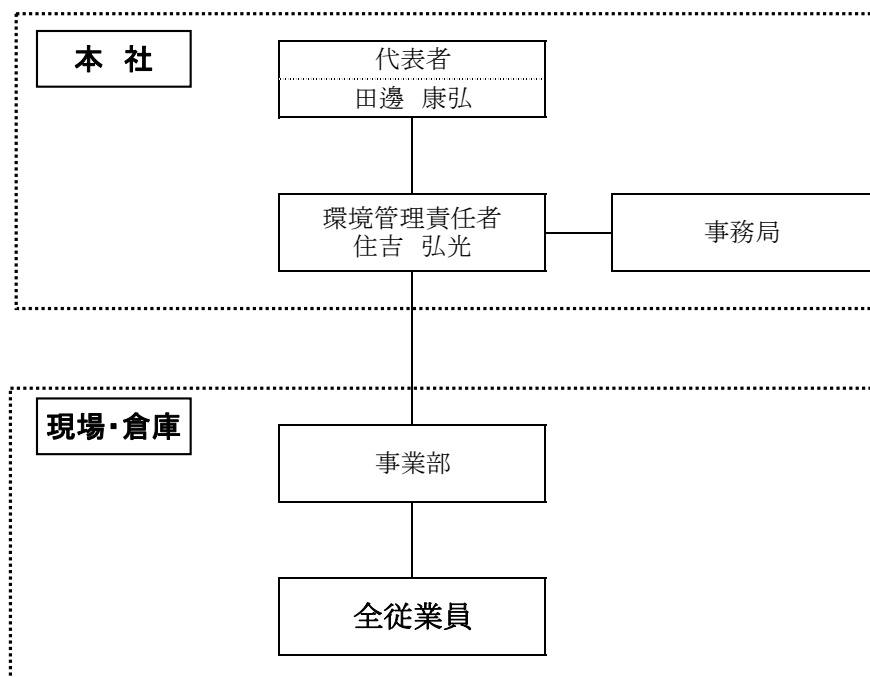
制定日 平成 22 年 11 月 1 日

改訂日 令和 2 年 7 月 9 日

有限会社 西村建設

代表取締役 田邊 康弘

4. 環境管理組織体制



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
事業部	・環境経営システムの実施 ・環境経営方針の周知 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標

1) 令和 4年度の目標

()は基準年に対する削減量

項 目		単位	令和 3年度	令和 5年度
			(基準年) R3年6月～R4年5月	目標 R5年6月～R6年5月
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	231,205	227,000 (-4,205)
	電力(事業所)	kWh	3,986	3,910 (-76)
	電力(臨時)	kWh		
	化石燃料	ℓ	89,636	87,840 (-1,796)
廃棄物排出量				
	一般廃棄物	kg	250.0	245.0 (-5)
	一般廃棄物リサイクル率	%	60.0	62.0
	産業廃棄物	t	237.2	233.0
	産業廃棄物リサイクル率	%	98.8	95%以上
水使用量		m ³	21.0	24.0以下
グリーン購入量		%	65.5	65%以上
環境に配慮した工事		件	全工事	全工事
地域活動(会社前、歩道清掃)		日	60	60
地域活動	ロードボランティア	回	10	10
	四万十川一斉清掃	回	1	1

2) 中長期の目標

項 目		単位	令和3年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			(基準年) R3.6～R4.5	目標 R5.6～R6.5	目標 R6.6～R7.5	目標 R7.6～R8.5	目標 R8.6～R9.5
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	231,205	227,000	224,000	222,000	220,000
	電力(事業所)	kWh	3,986	3,910	3,870	3,830	3,780
	電力(臨時)	kWh					
	化石燃料	ℓ	89,636	87,840	86,950	86,050	85,150
廃棄物排出量							
	一般廃棄物	kg	250.0	245	243	240	238
	一般廃棄物リサイクル率	%	60.0	62	63	64	65
	産業廃棄物	t	237.2	233	230	228	225
	産業廃棄物リサイクル率	%	98.8	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上
水使用量		m ³	21.0	24 以下	24 以下	24 以下	24 以下
グリーン購入量		%	65.5	65%以上	65%以上	65%以上	65%以上
環境に配慮した工事		件	全工事	全工事	全工事	全工事	全工事
地域活動(会社前、歩道清掃)		日	60	60	60	60	60
地域活動	ロードボランティア	回	10	10	10	10	10
	四万十川一斉清掃	回	1	1	1	1	1

※ 電力のCO₂排出係数は、四国電力の調整後排出係数(0.529Kg-CO₂/kWh)を使用

※ リサイクル率＝リサイクル施設に運搬した産業廃棄物排出量÷全産業廃棄物排出量

※ グリーン購入は、購入金額に対する比率

6. 環境経営計画

期間:

令和 5年 6月

～

令和 6年 5月

令和 5年度

項目		活動内容	責任者	期限
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	・ 車輛のエコドライブに努める ・ 車輛のアイドリングストップの推進 ・ 低燃費車優先使用	住吉弘光	令和6年5月31日
	電力使用量削減	・ プラント等を利用して、熱の出入りを調整 ・ パソコン等の主電源を夜間、休日には切る ・ 照明器具の定期清掃 ・ シーズンオフの時、エアコンのブレーカを切る	林留美	令和6年5月31日
水使用量削減 (排水量削減)		・ 手洗い時など、日常的に節水に努める ・ 洗車は、必要最小限にする ・ ホースの先にバルブを付けて、水の出しっ放しを防ぐ	林留美	令和6年5月31日
一般廃棄物削減		・ 両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減 ・ 使用済みコピー用紙を分別してリサイクル ・ コピー機のトナーカートリッジのリサイクルルートを確立	林留美	令和6年5月31日
産業廃棄物削減		・ 分別徹底とリサイクル ・ 再生材料(砕石・As)を使用する ・ リサイクル法にもとづき適正に処理する。	各現場責任者	令和6年5月31日
県内産資材の使用		・ 資材購入に当り県内産を優先する (再生砕石・水抜管・コンクリート二次製品等)	住吉弘光	令和6年5月31日
環境に配慮した工事の実施 (四万十川条例)		・ 間伐材を使用した型枠や看板を使用する ・ 低騒音・排ガス対策型重機を使用する ・ 環境負荷の少ない材料を使用する ・ 県内産資材を優先して使用する ・ 四万十川条例に従い、環境に配慮した工事の実施	各現場責任者	令和6年5月31日
グリーン購入		・ エコマーク商品の優先購入	林留美	令和6年5月31日
地域活動		・ 会社前の歩道の清掃 ・ ロードボランティア活動を行う ・ 四万十川一斉清掃に参加する	林留美	令和6年5月31日

7. 環境経営目標の実績

1) 1年間の目標と実績

(事 務 所) 項 目		単位	令和3年度	令和5年度 (R5年6月～R6年5月)			
			(基準年) R3.6～R4.5	目 標	実 績	達成率	評 価
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	231,205	227,000	242,450	93.6%	○
	電力(事業所)	kWh	3,986	3,910	3,938	99.3%	○
		kg-CO ₂	2,109	2,068	2,083		
	電力(臨時)	kWh	0		0		
		kg-CO ₂	0		0		
	化石燃料	ℓ	89,636	87,840	93,939	93.5%	○
		kg-CO ₂	229,096	224,932	240,366		
廃棄物排出量							
	一般廃棄物	kg	250.0	245.0	230.0	106.5%	◎
	一般廃棄物リサイクル率	%	60.0	62.0	60.9	98.2%	○
	産業廃棄物	t	237.2	233.0	158.3	147.2%	◎
	産業廃棄物リサイクル率	%	98.8	95.0 以上	95.8	100.8%	◎
水使用量		m ³	21.0	24.0 以下	27.0	88.9%	○
グリーン購入量		%	65.5%	65.0% 以上	53.2%	81.8%	○
環境に配慮した工事		件	全工事	全工事	51件	100.0%	◎
地域活動(会社前、歩道清掃)		日	60	60	60	100.0%	◎
地域活動	ロードボランティア	回	10	10	10	100.0%	◎
	四万十川一斉清掃	回	1	1	1	100.0%	◎

※電力のCO₂排出係数は、四国電力の調整後排出係数(0.529Kg-CO₂/kWh)を使用

※達成率＝目標÷実績×100

※リサイクル率＝リサイクル施設に運搬した廃棄物排出量÷全廃棄物排出量

※評価は、達成率が100%以上は◎・100%未満～80%以上は○・80%未満は×

活動の評価と対策

項目	理由	対策
二酸化炭素排出量	電力使用量と化石燃料使用量が増えた為、二酸化炭素排出量が、約7%増えた。	削減量の目標が達成されていないが、売上高換算では基準年の0.91に対し0.89と若干削減出来ている。 トンネル工事で大型重機を多数稼働していることを考慮すると、活動は妥当だと思われる。
一般廃棄物排出量	排出量の削減では目標達成しているが、前年のリサイクル率66.7%に対し60.9%と下がっている。	リサイクル率が前年度より下がっているため、分別を徹底するよう心がける。 活動としては、妥当だと思われる。
水使用量	倉庫の修繕作業やロードボランティアで使った為、目標より3m ³ 増加している。	目標の24m ³ を達成出来るように、節水に努力する。

2) 1年間の目標と実績（売上高換算）

	令和3年度	令和5年度
売上高 百万円	253	273

項 目	単位 百万円	令和3年度 (基準年) R3.6～R4.5	令和5年度（R5年6月～R6年5月）			
			目標 3年度比	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	913.9	897.3	888.1	101.0%	◎
電力(事業所)	kg-CO ₂	8.3	8.1	7.6	106.6%	◎
電力(臨時)	kg-CO ₂	0.0	0.0	0.0		
化石燃料	kg-CO ₂	905.6	887.5	880.5	100.8%	◎

※ 電力のCO₂排出係数は、四国電力の調整後排出係数(0.529Kg-CO₂/kWh)を使用

※ 達成率＝目標÷実績×100

3-2) 7年間の実績（売上高換算）

	単位	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	百万円	143	192	156	225	253	411	273
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	166,639	124,002	127,319	138,023	231,205	249,759	242,450
換算 CO ₂ 排出量	t-CO ₂	166.6	124.0	127.3	138.0	231.2	249.8	242.4
換算 売上高当り	t-CO ₂ /百万円	1.17	0.65	0.82	0.61	0.91	0.61	0.89

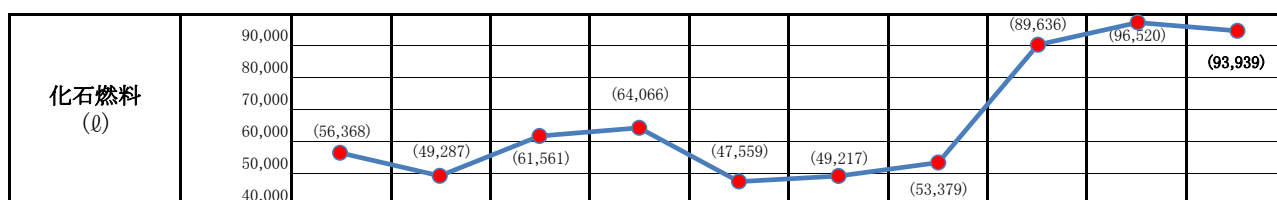
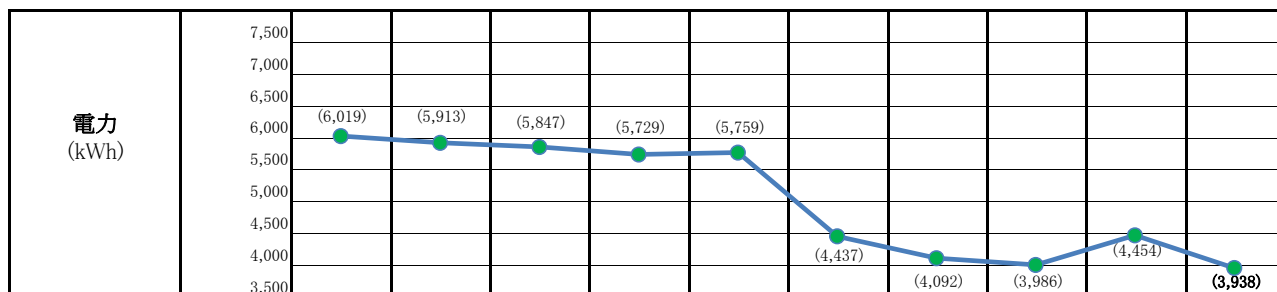
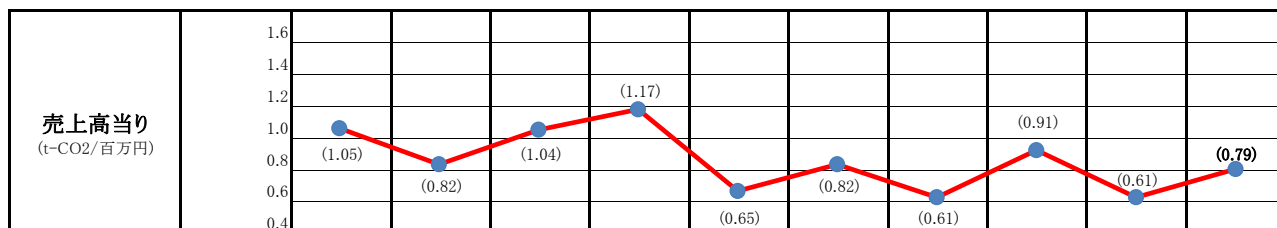
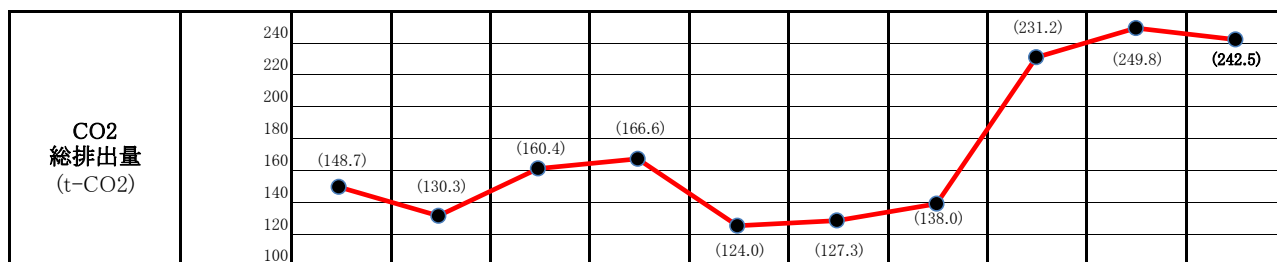
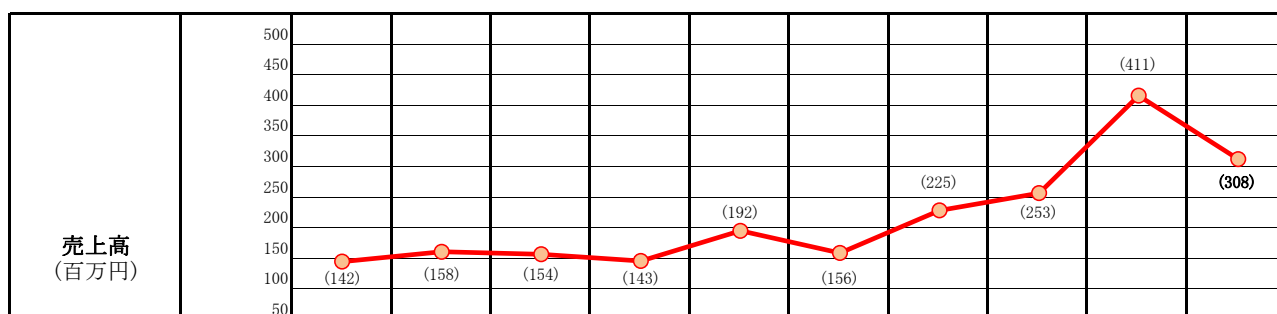
	単位	令和3年度	令和5年度
実売上高	百万円	253	308
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	231,205	242,450
換算 CO ₂ 排出量	t-CO ₂	231.2	242.4
換算 売上高当り	t-CO ₂ /百万円	0.91	0.79

※(工事が多年度にまたがる場合、売上高換算に差が生じる為、実売上高を使用します。)

3-3) 10年間の実績の推移

実売上高

年		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	百万円	142	158	154	143	192	156	225	253	411	308
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂	148.7	130.3	160.4	166.6	124.0	127.3	138.0	231.2	249.8	242.5
売上高当り	t-CO ₂ /百万円	1.05	0.82	1.04	1.17	0.65	0.82	0.61	0.91	0.61	0.79
電力	kWh	6,019	5,913	5,847	5,729	5,759	4,437	4,092	3,986	4,454	3,938
化石燃料	ℓ	56,368	49,287	61,561	64,066	47,559	49,217	53,379	89,636	96,520	93,939



8. 環境経営計画の取組結果とその評価

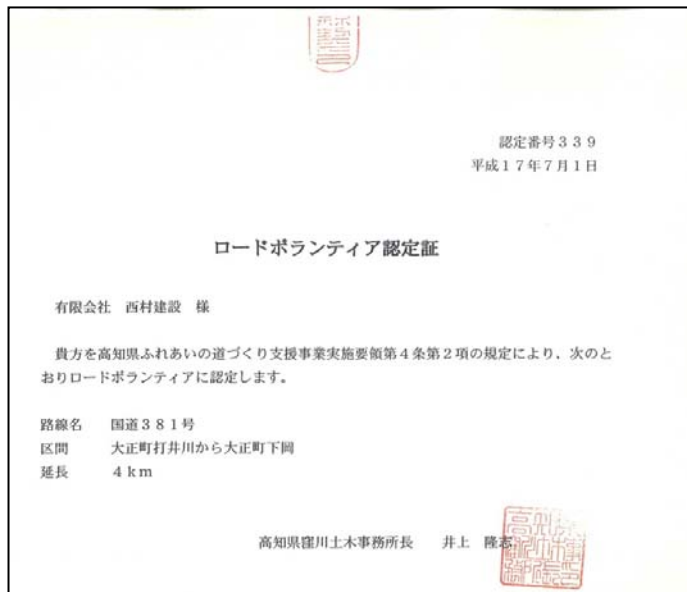
期間： 令和 5年 6月 ～ 令和 6年 5月

令和5年度				
項目		活動結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	・ 車両のエコドライブに努めた ・ 車両のアイドリングストップを推進した ・ 低燃費車を優先使用した	◎ ◎ ○	なし
	電力使用量削減	・ ブライト等を利用して、熱の出入りを調整した ・ パソコン等の主電源を夜間、休日には切った ・ 照明器具の定期清掃をした ・ シーズンオフの時、エアコンのブレーカを切る	◎ ◎ ○ ○	なし
水使用量削減 (排水量削減)		・ 手洗い時など、日常的に節水に努めた ・ 洗車は、必要最小限にした ・ ホースの先にバルブを付けて、水の出しっ放しを防いだ	◎ ◎ ◎	なし
一般廃棄物削減		・ 両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減に努めた ・ 使用済みコピー用紙を分別してリサイクルに努めた ・ コピー機のトナーカートリッジのリサイクルルートを確立した	○ ◎ ◎	なし
産業廃棄物削減		・ 分別徹底とリサイクルに努めた ・ 再生材料(砕石・As)を優先使用した ・ リサイクル法にもとづき適正に処理した	◎ ◎ ◎	なし
県内産資材の使用		・ 資材購入に当り県内産を優先した (再生砕石・水抜管・コンクリート二次製品等)	◎	なし
環境に配慮した 工事の実施 (四万十川条例)		・ 間伐材を使用した型枠や看板を使用した ・ 低騒音・排ガス対策型重機を使用した (バックホウ・ダンプトラック・燃料添加剤等) ・ 環境負荷の少ない材料を使用した (ケンタイト・再生砕石等) ・ 県内産資材を優先して使用した (生コンクリート・コンクリート二次製品等) ・ 四万十川条例に従い、環境に配慮した工事の実施 ・ ITC工法の導入	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	なし
グリーン購入		・ エコマーク商品を優先購入した	◎	なし
地域活動		・ 会社前の歩道の清掃を行った ・ ロボボランティア活動を行った ・ 四万十川一斉清掃に参加した	◎ ◎ ◎	なし

評価：◎良く出来ている ○出来ている △努力が必要 ×出来ていない

1. 環境活動状況

ロードボランティア認定書



エコアクション21 認証・登録番号



アイドリングストップのステッカー



燃料添加剤 K-S1 NETIS登録 HR-100007-VE



ロードボランティア実施状況

県道大方大正線 欄干清掃
R5年4月



県道大方大正線 植栽剪定
R5年7月



環境に配慮した工事の施工

環境型ブロックにより施工した災害工事

R6年6月



かごマットを使用した護岸

R6年10月



新たに購入した重機

R6.3月 0.45m³バックホウ



9. 次年度の環境経営計画の取組内容

期間： 令和6年度 （ 令和 6年 6月 ～ 令和 7年 5月 ）

項目		活動内容	責任者	期限
CO ₂ 排出 量削減	燃料使用量削減	・ 車輛のエコドライブに努める ・ 車輛のアイドリングストップの推進 ・ 低燃費車優先使用	住吉弘光	令和7年5月31日
	電力使用量削減	・ ブライント等を利用して、熱の出入りを調整 ・ パソコン等の主電源を夜間、休日には切る ・ 照明器具の定期清掃 ・ シーズンオフの時、エアコンのブレーカを切る	林留美	令和7年5月31日
水使用量削減 (排水量削減)		・ 手洗い時など、日常的に節水に努める ・ 洗車は、必要最小限にする ・ ホースの先にバルブを付けて、水の出しっ放しを防ぐ	林留美	令和7年5月31日
一般廃棄物削減		・ 両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減 ・ 使用済みコピー用紙を分別してリサイクル ・ コピー機のトナーカートリッジのリサイクルルートを確立	林留美	令和7年5月31日
産業廃棄物削減		・ 分別徹底とリサイクル ・ 再生材料(砕石・As)を使用する ・ リサイクル法にもとづき適正に処理する。	各現場 責任者	令和7年5月31日
県内産資材の使用		・ 資材購入に当り県内産を優先する (再生砕石・水抜管・コンクリート二次製品等)	住吉弘光	令和7年5月31日
環境に配慮した工事の実施 (四万十条例)		・ 間伐材を使用した型枠や看板を使用する ・ 低騒音・排ガス対策型重機を使用する ・ 環境負荷の少ない材料を使用する ・ 県内産資材を優先して使用する ・ 四万十川条例に従い、環境に配慮した工事の実施	各現場 責任者	令和7年5月31日
グリーン購入		・ エコマーク商品の優先購入	林留美	令和7年5月31日
地域活動		・ 会社前の歩道の清掃 ・ ロードボランティア活動を行う ・ 四万十川一斉清掃に参加する	林留美	令和7年5月31日

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用範囲	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	第12条	産業廃棄物の委託契約	工事毎 6月30日までに	工事担当者	遵守	R6.4.23
		マニフェストの交付				
		マニフェストの照合・保管		環境管理責任者		
	規則第8条	マニフェスト交付状況報告書の県知事へ提出				
	規則第8条	産業廃棄物の保管基準(産業廃棄物の保管時)	保管時	環境管理責任者	該当なし	
騒音規制法	第14条	指定の地域での特定建設作業の実施の届出(建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	工事毎	工事担当者	該当なし	
振動規制法	第14条	指定の地域での特定建設作業の実施の届出(建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	工事毎	工事担当者	該当なし	
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第16条	工事請負額が100万円以上の場合、再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出(発注者に提出)	工事毎	工事担当者	遵守	R6.6.1
高知県 四万十川条例	第13条	環境に配慮した計画	工事毎	工事担当者	該当なし	
	第14条	重点地域の許可申請	工事毎	工事担当者	該当なし	
	第26条	濁りの防止	工事毎	工事担当者	遵守	R6.6.1
フロン排出抑制法	第5条	第一種特定製品 冷媒としてフロン類が充填されている機器の点検の実施、漏えい防止措置、漏えい量の報告、整備時の充填・回収委託、廃棄時のフロン改修の徹底	3ヶ月に 一回以上	環境管理責任者	遵守	R6.6.1
大気汚染防止法	第15条	特定粉じん排出等作業の開始の日の14日前までに知事に届出	工事毎	工事担当者	該当なし	

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和6年6月1日 現在

環境関連法規への違反はありません。なお関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

また、訴訟及び環境に関する外部からの苦情はありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

(令和 5年 6月 ～ 令和 6年 5月)

代表取締役社長



実施日

令和6年6月18日

(環境管理責任者による報告及び改善への提案)

取組状況の評価結果

- ① 環境関連法規制等の遵守状況
 - ・守られていて問題はありません。
- ② 問題点の是正及び予防処置
 - ・バックホウの新車を購入しました。
- ③ 代表者の指示事項への対応
 - ・全従業員の環境活動に対する取組の再認識。

改善への提案

改善の提案は、ありません。

代表者による見直し

変更の必要性 ☐あり ☒なし

(環境方針)

よくエコ21に取組んでいると思う。
引き続き、環境経営方針に従い継続していくこと。

目標の達成状況

- ① 電力使用量や重機等から出るCO₂の削減
 - ・電力使用量と化石燃料使用量が増えた為、二酸化炭素排出量が目標よりそれぞれ約0.7%と7%増えていますが、売上高換算では前年度の0.61から0.79に上がっています。
- ② 一般廃棄物・産業廃棄物の削減とリサイクルの推進
 - ・一般廃棄物の削減は目標より6%削減しているが、リサイクル率は目標62%に対し61%です。産業廃棄物の削減量は目標より47%削減でき、リサイクル率は98%で目標を達成しています。
- ③ 水資源の使用量削減
 - ・目標より増加(3.0m³)しています。
- ④ グリーン購入の拡大
 - ・目標(65%)に対し、53%です。
- ⑤ 環境に配慮した工事の施工
 - ・全ての工事が環境に配慮しています。
- ⑥ 地域ボランティア活動への積極的参加
 - ・ロードボランティアを実施している。

改善への提案

- ①--- 大型重機を多数使用するトンネル工事が2件あり、燃料の増加は否めないと思う。改善の必要はないが、アイドリングストップ等に心がけてCO₂の削減に努力すること。
- ②--- 一般廃棄物の分別を徹底し、一般廃棄物・産業廃棄物の削減とリサイクルに努め、これを持続する。
- ③--- 継続する
使用量削減に努力すること。
- ④--- 継続する
グリーン購入に努めること。
- ⑤--- 継続する
- ⑥--- 継続する

代表者による見直し

変更の必要性 ☐あり ☒なし

(目標・経営計画及び実施体制)

今年度は、一般・産業廃棄物削減、環境に配慮した工事の施工、ボランティアへの参加など、良く出来ていると思う。
一般・産業廃棄物のリサイクル率も目標を達成しているが、分別を徹底し、削減率・リサイクル率を今以上に上げる努力する。また、産業廃棄物の廃プラスチック類はリサイクル施設が近くにないので使用量に注意すること。
CO₂削減については、売上高換算で見ると基準年0.91から0.79と下がっているが、削減のための努力をすること。
計画に基づく取組みは充分できており、今後も更なる取組方法を考慮しつつ、継続して実施することにより、長期での目標達成に努力し社会に貢献していきたい。
実施体制の変更の必要ない。

周囲の変化状況

- ① 外部コミュニケーション記録
 - ・地元等と打合せを行っているので苦情等はなし。
- ② その他

改善への提案

・なし

代表者による見直し・指示

変更の必要性 ☐あり ☒なし

経営計画も実施体制も有効に機能しているので、引き続きこの環境経営システムにて活動に取り組んでいく。